

# 令和7年度海田町学校意識調査の結果

## 1 回答期間

令和7年11月20日（木）から令和7年11月27日（木）

## 2 対象者

児童生徒の保護者

## 3 回答方法

オンライン画面から回答

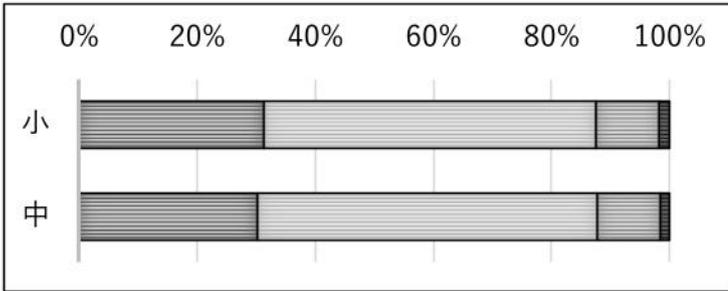
## 4 回答率

小学校：91%    中学校：89%

# 海田町小中一貫「道徳教育」を通して、「自己肯定感」を育成する授業づくり

あなたは、海田町教育行政についてどう思いますか。

「肯定的回答」が 87%以上



	小学校	中学校
満足	31.4%	30.3%
やや満足	56.2%	57.6%
少し不満	10.8%	10.5%
不満	1.7%	1.6%

## 『全町道徳』の取組

本町では、令和6年度から目指す子ども像として「**自己肯定感を高め、自信をもって学習に取り組んだり、学校や地域での生活をおくったりすることができる**」とし、『全町道徳』に取り組んでいます。



### 児童生徒の状況

- ・褒められても素直に受け止められない
- ・上手くできても自信にならない
- ・人から認められているのに自分には価値がないと思っている

### \* 自己肯定感とは

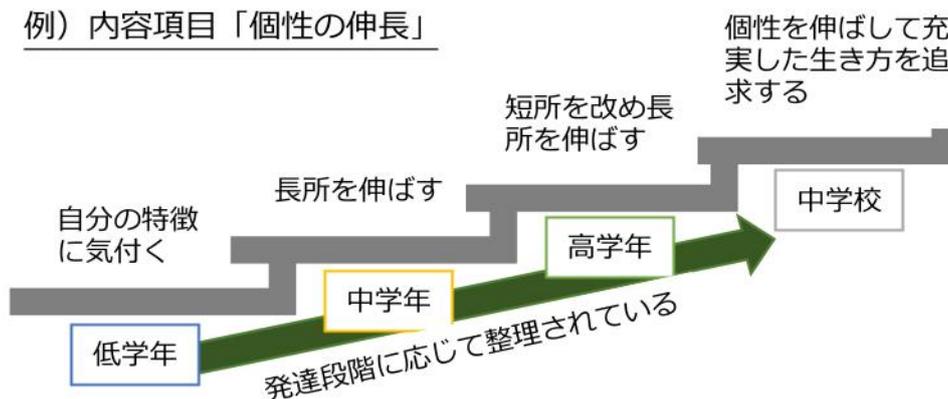
「自分の存在そのものを認める」感覚であり、「ありのままの自分をかけがえのない存在として肯定的、好意的に受け止めることができる感覚」のことで、「自分が自分をどう思うか」という自己認識が自己肯定感を決定づける。

### 道徳教育を通じて

- ①「どう生きるか」「何が大切か」を考える土台となる。知識やスキルだけでなく「**どう行動するか**」「**どんな人になりたいか**」という**人生の方向性を育む**。
- ②他者の心の痛みに気付き、**相手の気持ちを想像する力を育む**。
- ③正解がない問いと向き合い、**自分なりの答えを考える力を育む**。

## 9年間を見通して、よりよく生きるための基盤づくり

例) 内容項目「個性の伸長」

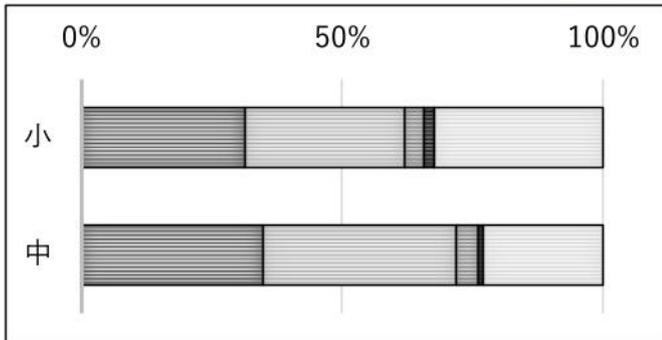


### 「内容項目」とは

児童生徒が人間関係や社会でのルールを学ぶために、小学校低学年 19、中学年 20、高学年・中学校は 22 で整理されています。例えば、「整理整頓をすること」は「節度・節制」に分類されています。年間 35 時間、道徳科の授業で学習します。

# 児童生徒一人一人に応じた支援

## 青少年サポート事業の充実



「肯定的回答」が小学校62%、中学校71.8%

	小学校	中学校
満足	31.3%	34.9%
やや満足	30.7%	36.9%
少し不満	3.8%	4.3%
不満	1.9%	0.9%
知らない	32.3%	23.0%

学校や関係機関と連携しながら、教育相談や個別指導による基礎が学力の補充等を行い、様々な課題を抱える児童生徒の学校・学級復帰を支援しています。



心配ごとや不安、悩みなどいろいろな理由で学校に行けない子供たちが、安心して活動できる場所として開室しています。

### ■開設日時

月～金曜 10時～16時 \*水曜日のみ 10時～13時

### ■利用条件

- ・海田町立小中学校に在籍する児童生徒
- ・海田町内に在住し、国立または私立小中学校等に在籍する児童生徒

### ■場所

海田町真田会館2階  
(海田町稲荷町2番20号)

電話 080-5628-6866 (直通)

\*詳細は、海田町「さんさんルーム」

<https://www.town.kaita.lg.jp/soshiki/26/18214.html>



海田町適応指導教室 (さんさんルーム)



町内小中学校(6校)に設置しています。

利用する児童生徒にとって、安全であり、安心できる居場所としていくため、個々の児童生徒の状況等を踏まえたサポート計画を策定し、学習支援等を行っています。

また、児童生徒が不安や困りごとを相談しやすい体制(S CやS S Wとも連携)を整えています。

利用を希望する際には、学校に相談をしてください。

校内適応指導教室 (海田西小学校)

令和6年度の不登校児童生徒についての調査結果(文部科学省)によると、不登校児童生徒数は、合計35万人で過去最多となっています。本町では前年度同様の結果ですが、学校になじめない児童が増えています。理由は多岐にわたりますが、「学校生活に対してやる気が出ない」「生活リズムの不調」「人間関係の悩み」が多いです。

本町では、安心してできる環境整備や教育相談の充実に努めています。困ったことがあれば、教育委員会や学校へ相談をしてください。